

宮崎県感染症週報

宮崎県健康増進課感染症対策室・宮崎県衛生環境研究所

宮崎県第32週の発生動向

全数報告の感染症 (32週までに新たに届出のあったもの)

1類感染症：報告なし。2類感染症：結核3例。3類感染症：報告なし。
4類感染症：E型肝炎1例。5類感染症：報告なし。

	疾患名	報告保健所	年齢群	性別	病型	症状等
2類	結核	宮崎市	50歳代	女	肺結核	画像所見(左肺上葉の粒状影)
			80歳代	男	肺結核	咳、痰、発熱、呼吸困難
		日南	90歳代	男	肺結核	画像所見 (両肺野の胸部CT胸水貯留、透過性低下)
4類	E型肝炎	宮崎市	70歳代	女	患者	発熱、全身倦怠感、食欲不振、黄疸、肝機能異常

《前週との比較》

定点把握の対象となる5類感染症

・定点医療機関からの報告総数は552人(定点あたり17.3)で、前週比92%と減少した。前週に比べ増加した主な疾患はRSウイルス感染症で、減少した主な疾患は咽頭結膜熱とヘルパンギーナであった。

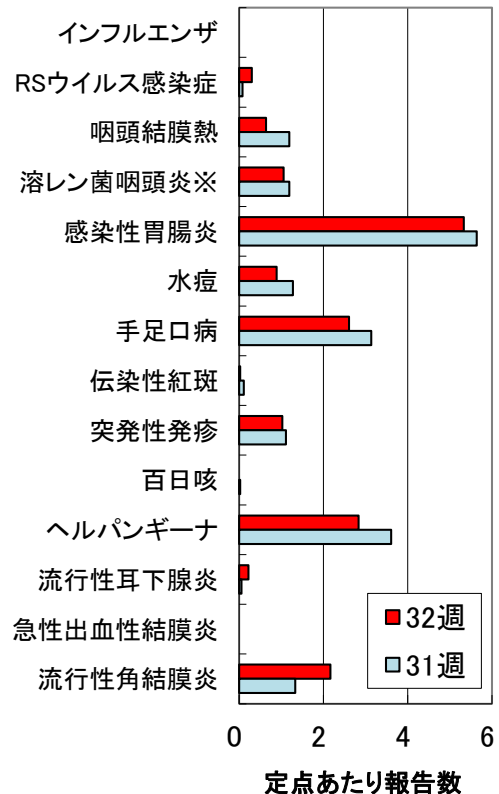
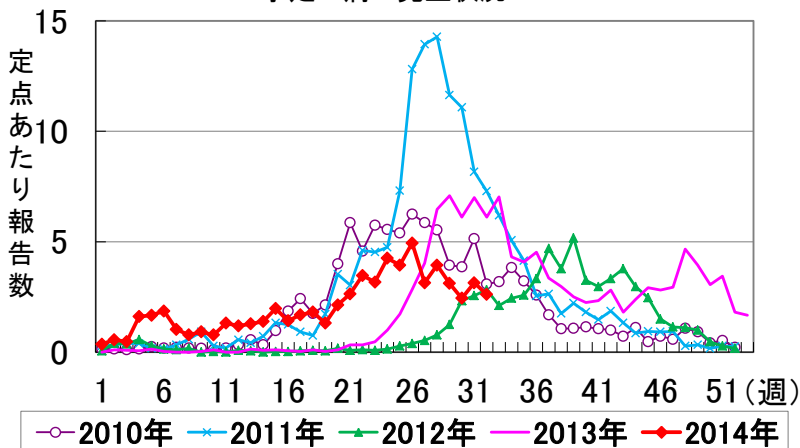
★インフルエンザ・小児科定点からの報告★

【手足口病】

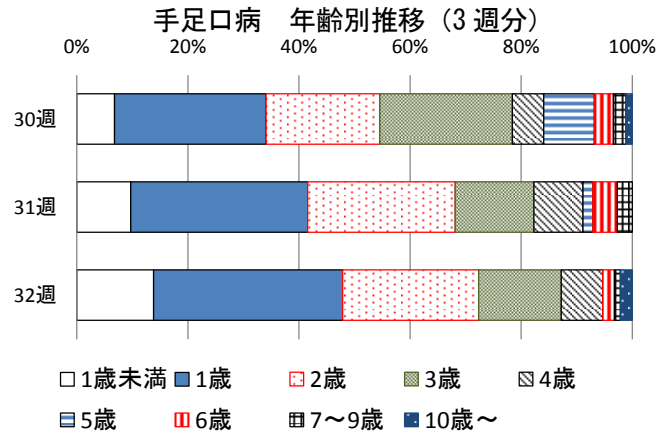
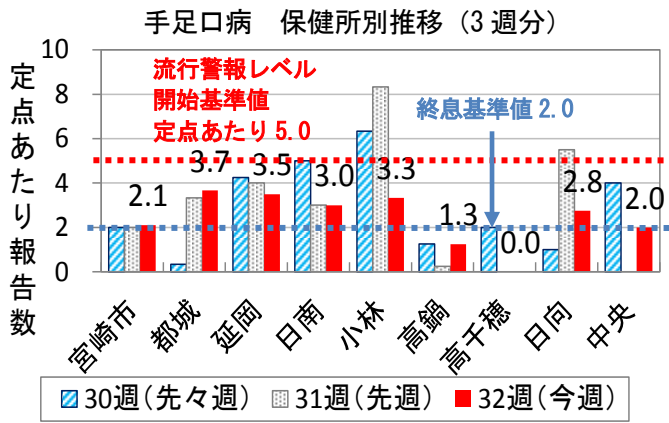
・報告数は94人(2.6)で前週比83%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(4.5)の約0.6倍であった。年齢別では1歳から2歳が全体の約6割を占めた。

* 過去5年間の当該週、前週、後週(計15週)の平均値

手足口病 発生状況

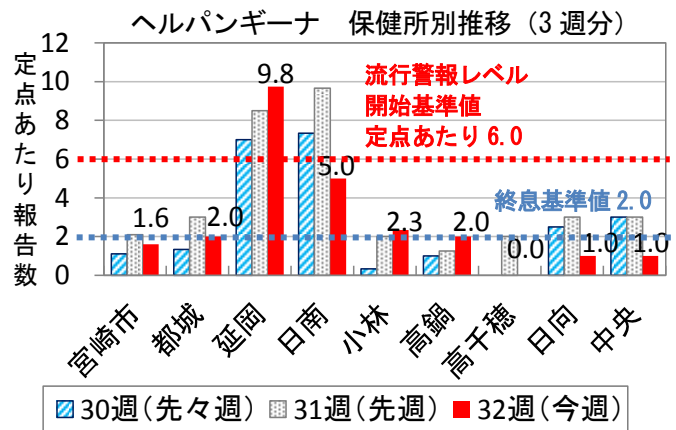
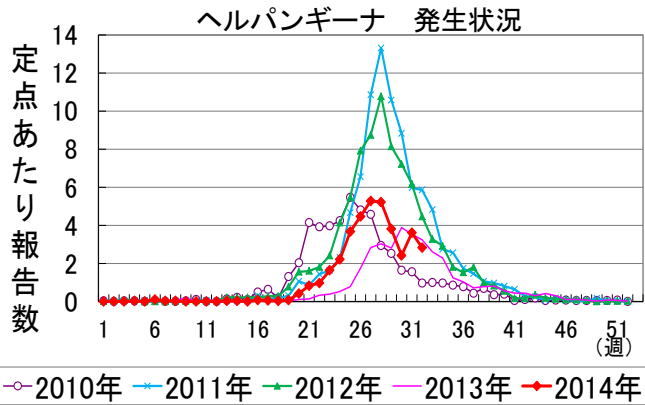


※ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



【ヘルパンギーナ】

・報告数は102人(2.8)で前週比78%と減少した。例年同時期の定点あたり平均値*(3.5)の約0.8倍であった。延岡(9.8)保健所からの報告が多く、年齢別では1歳から2歳が全体の約半数を占めた。



★流行警報レベル開始基準値超過疾患★

保健所名	流行警報レベル開始基準値超過疾患
宮崎市	なし
都城	なし
延岡	ヘルパンギーナ(9.8)
日南	なし
小林	なし
高鍋	なし
高千穂	なし
日向	なし
中央	なし

＊流行警報レベル開始基準値＊

・ヘルパンギーナ(6.0)

★基幹定点からの報告★

○感染性胃腸炎(ロタウイルス)：高鍋保健所管内から1例報告された。患者は3歳で群別不明。

□ 病原体検出情報（衛生環境研究所微生物部 平成 26 年 8 月 11 日までに検出）

★細菌

同定細菌名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	同日
腸管出血性大腸菌(O55:H12 VT1)	0~4	女	2014.7.12	無症状	便	2014.8.6
毒素原性大腸菌 (OUT;HNM,LT)	30歳代	男	2014.7.16	ETEC疑	便	2014.7.30
<i>Salmonella</i> Enteritidis (O9:g,m:-)	5~9	女	2014.7.18	発熱(40℃)、熱性けいれん、下痢	便	2014.7.29
サルモネラO7群型別不能	50歳代	女	201.7.19	無症状	便	2014.7.29
<i>Salmonella</i> Infantis(O7:r:1,5)	60歳代	女	2014.7.24	—	便	2014.7.31
<i>Mycobacterium bovis</i> BCG	0~4	女	2014.7.16	左手背皮下腫瘍	組織液	2014.8.7

○発熱、熱性けいれん、下痢を起こした女児から *Salmonella* Enteritidis (SE) が分離同定された。SE は 2001 年から 2010 年まで当所で最も多く分離されていた血清型である。しかし、ここ数年 SE の検出数は減少傾向にあり、昨年は健康保菌者から 1 件分離されているのみである。今回、腸管出血性大腸菌 (EHEC) や毒素原性大腸菌 (ETEC)、サルモネラ属菌などが検出されており、気温の高い日が続く夏季は食中毒の集団発生など特に注意する必要がある。

★ウイルス

同定ウイルス名	年齢	性別	採取月日	臨床症状等	検出材料	検出日
コクサッキーウイルスB5型	1	男	2014.07.06	急性脳症、40.0℃、けいれん	咽頭ぬぐい液、便	2014.08.08
パラインフルエンザ3型	4ヶ月	男	2014.07.07	肺炎、38.1℃	咽頭ぬぐい液	2014.08.01
単純ヘルペスウイルス1型	8	女	2014.07.16	単純ヘルペス、水疱	痂皮	2014.08.08

○急性脳症と診断された小児からコクサッキーウイルス B5 が分離された。

○肺炎と診断された乳児からパラインフルエンザ 3 型が検出された。全国の下気道炎由来ウイルス検出状況を見ると、5 月から 8 月初めまでパラインフルエンザウイルス 3 型が多く検出されている。これは昨年の検出状況とほぼ同様で、その後は RS ウイルスが検出されていることから、今後 RS ウイルスの動向にも注意する必要がある。

○単純ヘルペスと診断された乳児から単純ヘルペスウイルス 1 型が分離された。単純ヘルペスウイルス 1 型は今年に入り 2 例分離されており、麻疹様の急性発疹症とヘルパンギーナと診断された小児 2 名から分離されている。

📊 全国第 31 週の発生動向

□ 全数報告の感染症（全国第 31 週）

1類感染症	報告なし				
2類感染症	結核	409 例			
3類感染症	細菌性赤痢	4 例	腸管出血性大腸菌感染症	203 例	
4類感染症	E 型肝炎	3 例	A 型肝炎	3 例	オウム病 1 例
	重症熱性血小板減少症候群	2 例	デング熱	3 例	日本紅斑熱 6 例
	ブルセラ症	1 例	レジオネラ症	21 例	レプトスピラ症 2 例
5類感染症	アメーバ赤痢	22 例	ウイルス性肝炎	2 例	急性脳炎 3 例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	2 例	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4 例	後天性免疫不全症候群 7 例
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3 例	侵襲性髄膜炎菌感染症	1 例	侵襲性肺炎球菌感染症 14 例
	梅毒	23 例	破傷風	1 例	バンコマイシン耐性腸球菌感染症 1 例
	風しん	6 例	麻しん	5 例	

□ 定点把握の対象となる 5 類感染症

定点医療機関あたりの患者報告総数は前週比 104% とほぼ横ばいであった。今週増加した主な疾患は RS ウイルス感染症とヘルパンギーナで、減少した主な疾患は水痘と伝染性紅斑であった。

RS ウイルス感染症の報告数は 446 人 (0.14) で、前週比 117% と増加した。沖縄県 (1.4)、福岡県 (0.53)、新潟県 (0.41) からの報告が多く、年齢別では 6 ヶ月～1 歳が全体の約 6 割を占めた。

ヘルパンギーナの報告数は 13,838 人 (4.4) で、前週比 107% と増加した。長野県 (8.9)、山形県 (8.5)、新潟県 (7.9) からの報告が多く、年齢別では 1～2 歳が全体の約半数を占めた。

■ 月報告対象疾患の発生動向 <7月>

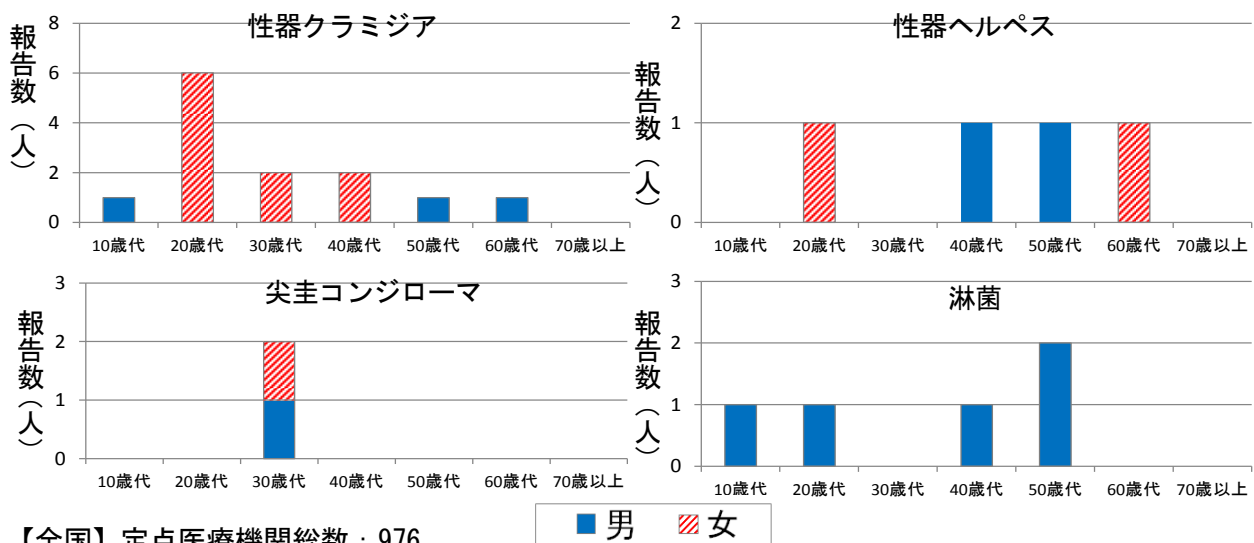
□性感染症

【宮崎県】 定点医療機関総数：13

定点医療機関からの報告総数は24人（1.9）で、前月比56%と減少した。また、昨年7月（3.3）の約0.6倍であった。

《疾患別》

- 性器クラミジア感染症：報告数13人（1.0）で、前月及び昨年7月の約0.5倍であった。年齢別では20歳代が全体の約半数を占めた。（男性3人・女性10人）
- 性器ヘルペスウイルス感染症：報告数4人（0.31）で、前月の約2.0倍、昨年7月と同程度であった。（男性2人・女性2人）
- 尖圭コンジローマ：報告数2人（0.15）で、前月及び昨年7月の約2.0倍であった。（男性1人・女性1人）
- 淋菌感染症：報告数5人（0.38）で、前月の約0.4倍、昨年7月の約0.5倍であった。50歳代が全体の約4割を占めた。（男性5人）



【全国】 定点医療機関総数：976

定点医療機関からの報告総数は4,460人（4.6）で、前月比107%と増加した。疾患別報告数は、性器クラミジア感染症2,266人（2.3）で前月比105%、性器ヘルペスウイルス感染症767人（0.79）で前月比110%、尖圭コンジローマ539人（0.55）で前月比106%、淋菌感染症888人（0.91）で前月比110%であった。

□薬剤耐性菌

【宮崎県】 定点医療機関総数：7

定点医療機関からの報告総数は34人（4.9）で前月比170%と増加した。また昨年7月（6.0）の約0.8倍であった。

《疾患別》

- メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症：報告数32人（4.6）で、前月の約2.3倍、昨年7月の約0.8倍であった。70歳以上が全体の約6割を占めた。
- ペニシリン耐性肺炎球菌感染症：報告数2人（0.29）で、前月の約0.4倍であった。（昨年7月報告なし）
- 薬剤耐性緑膿菌感染症：報告はなかった。
- 薬剤耐性アシネトバクター感染症：報告はなかった。

【全国】 定点医療機関総数：474

定点医療機関からの報告総数は1,729人（3.6）で、前月比103%とほぼ横ばいであった。疾患別報告数は、メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症1,522人（3.2）で前月比106%、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症181人（0.38）で前月比88%、薬剤耐性緑膿菌感染症26人（0.05）で前月比83%、薬剤耐性アシネトバクター感染症は報告はなかった。

宮崎県 感染症情報

(72定点医療機関)

2014年 第32週(08月04日~08月10日)

疾病名		第31週	第32週	宮崎市	都城	延岡	日南	小林	高鍋	高千穂	日向	中央
インフルエンザ	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
RSウイルス 感染症	報告数	3	11	2		9						
	定点あたり	0.08	0.31	0.20	0.00	2.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
咽頭結膜熱	報告数	43	23	9	2	4	4		2		2	
	定点あたり	1.19	0.64	0.90	0.33	1.00	1.33	0.00	0.50	0.00	0.50	0.00
A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎	報告数	43	38	7	4	6		4	6	1	10	
	定点あたり	1.19	1.06	0.70	0.67	1.50	0.00	1.33	1.50	1.00	2.50	0.00
感染性胃腸炎	報告数	203	192	30	26	19	20	50	14	6	25	2
	定点あたり	5.64	5.33	3.00	4.33	4.75	6.67	16.67	3.50	6.00	6.25	2.00
水痘	報告数	46	32	9	6	10		4	2		1	
	定点あたり	1.28	0.89	0.90	1.00	2.50	0.00	1.33	0.50	0.00	0.25	0.00
手足口病	報告数	113	94	21	22	14	9	10	5		11	2
	定点あたり	3.14	2.61	2.10	3.67	3.50	3.00	3.33	1.25	0.00	2.75	2.00
伝染性紅斑	報告数	4	1			1						
	定点あたり	0.11	0.03	0.00	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
突発性発しん	報告数	40	37	5	6	8	5	5	5		3	
	定点あたり	1.11	1.03	0.50	1.00	2.00	1.67	1.67	1.25	0.00	0.75	0.00
百日咳	報告数	1										
	定点あたり	0.03	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
ヘルパンギーナ	報告数	130	102	16	12	39	15	7	8		4	1
	定点あたり	3.61	2.83	1.60	2.00	9.75	5.00	2.33	2.00	0.00	1.00	1.00
流行性耳下腺炎	報告数	2	8		1	4	1	1	1			
	定点あたり	0.06	0.22	0.00	0.17	1.00	0.33	0.33	0.25	0.00	0.00	0.00
急性出血性結膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00						
流行性角結膜炎	報告数	8	13	10	3							
	定点あたり	1.33	2.17	3.33	1.50	0.00						
細菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
無菌性髄膜炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
マイコプラズマ肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
クラミジア肺炎	報告数											
	定点あたり	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00		0.00	
感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	報告数		1						1			
	定点あたり	0.00	0.14	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	1.00		0.00	

インフルエンザ定点:59、小児科定点:36(インフルエンザ定点を兼ねる)、眼科定点:6、基幹定点:7

上段:報告数
下段:定点当り報告数

●全数把握対象疾患累積報告数(2014年第1週~32週)

2類感染症	結核	126例(3)				
3類感染症	腸管出血性大腸菌感染症	17例				
4類感染症	E型肝炎	2例(1)	A型肝炎	15例	重症熱性血小板減少症候群	10例
	つつが虫病	5例	日本紅斑熱	4例	ボツリヌス症	1例
	レジオネラ症	7例				
5類感染症	アメーバ赤痢	4例	ウイルス性肝炎	2例	急性脳炎	5例
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1例	後天性免疫不全症候群	6例	侵襲性肺炎球菌感染症	8例
	梅毒	8例	破傷風	1例	風しん	1例
	麻しん	3例				

()内は今週届出分、再掲